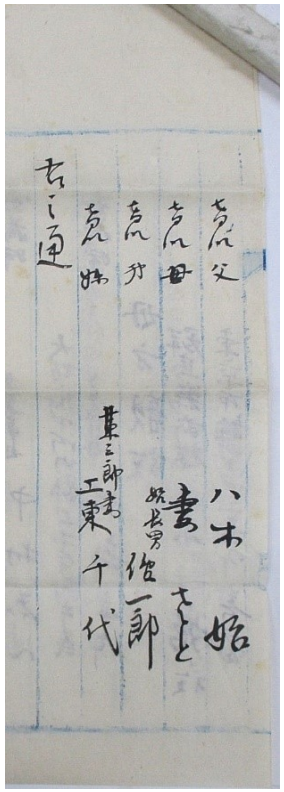

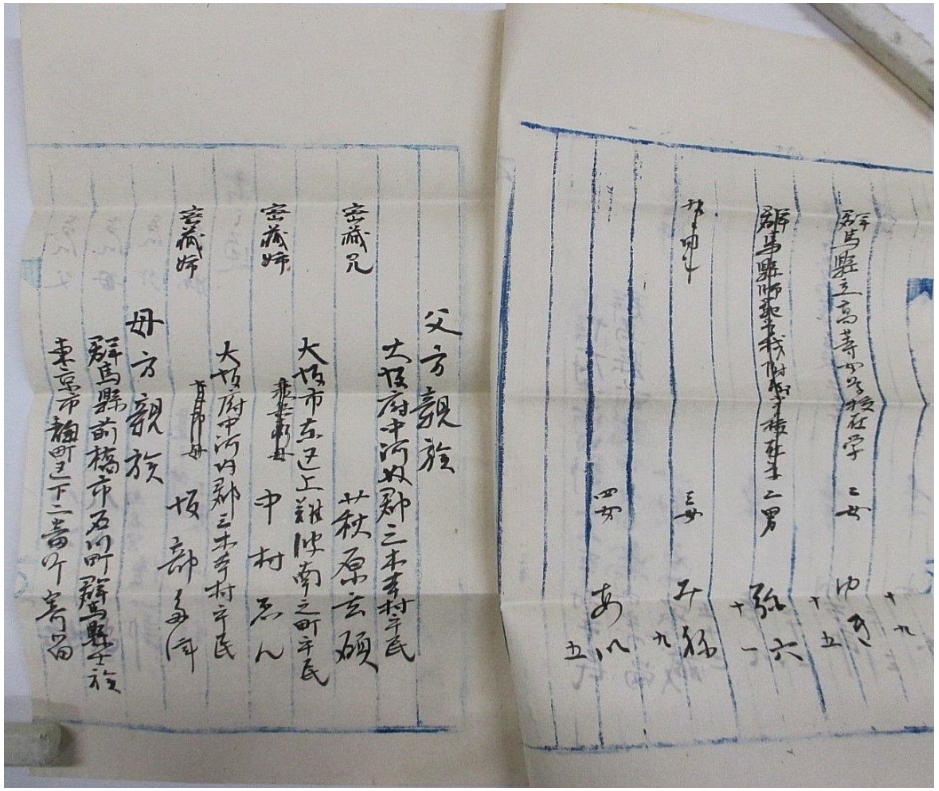

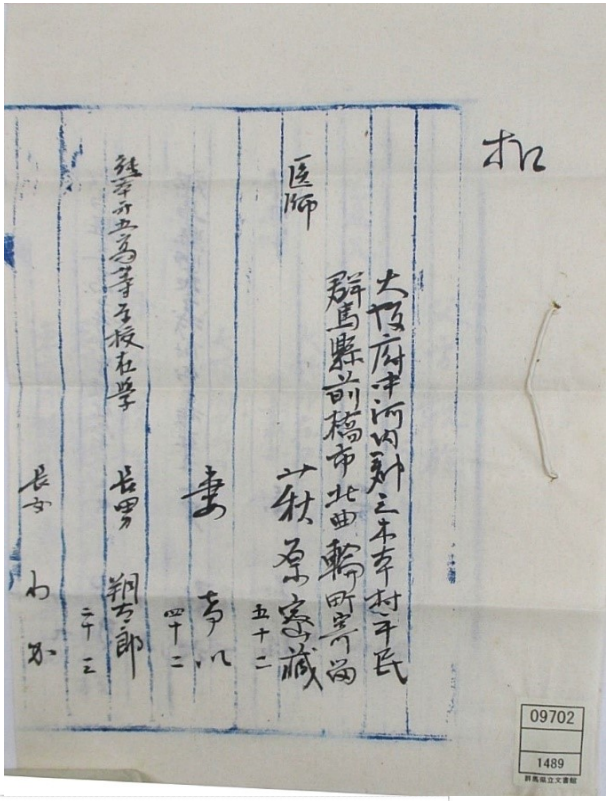

【史料㉟】〔萩原家家族書、父方・母方親族書扣〕

扣

医師　大坂府中河内郡三木本村平民
群馬県前橋市北曲輪町寄留
萩原密蔵　五十二

妻　ち八　四十二

群馬県立高等学校在学　長男　朔太郎　二十二

熊本第五高等学校在学　長女　わか

群馬県立高等女学校在学　二女　ゆう　十九

群馬県師範学校附属学校在学　二男　弘六　十一

右ニ同シ　三女　みね　九

四女　あい　五

父方親族

密蔵兄　大坂府中河内郡三木本村平民　萩原玄碩

密蔵姉　大坂市東区上難波南之町平民　中村ゑん

密蔵姉　大坂府中河内郡三木本村平民　坂部多津

母方親族

けい父　群馬県前橋市石川町群馬県士族

けい母　東京市麹町区下二番町寄留　八木始

けい弟　始長男　妻　さと

けい妹　工東三郎妻　工東千代

右之通

㉟〔萩原家家族書〕

明治41（1908）年カ8月

これは、萩原密蔵一家を中心に父方萩原家・母方八木家の家族関係がわかる興味深い史料です。朔太郎が熊本の第五高等学校に入学したのが明治40（1907）年9月で、翌年9月に岡山の第六高等学校に転校していることから、明治41年の史料と考えられます。父密蔵は、大阪府中河内郡三木本村（現八尾市）出身で、漢方医だった萩原家の四男に生まれ、西洋医学を修得するため東京医学校別課で学びました。そこを優秀な成績で卒業して前橋の病院に勤め、八木けいと見合い結婚をしました。

八木健次家文書　P09702　No. 1489